

基本目標6 パートナーシップが支えるまちの実現

1 板橋区の現状

■ 全区民参加型環境保全キャンペーン

指標名	基準年値 平成26年度	めざす 方向性	目標値 令和7年度	実績値 令和2年度	(参考)		進捗率	進捗度
					達成率	達成度		
全区民参加型環境保全 キャンペーン参加者数	25,674 人		31,500 人	0 人	0%	C	0%未満	停滞

この指標は、「板橋クリーン作戦」（関連P74）、「ポイ捨て防止キャンペーン」（関連P75）、「打ち水キャンペーン」の参加者数を集計したものととなります。

コロナ禍で対象事業が全て中止となったため、実績はゼロとなりました。

今後のキャンペーンについては、新しい生

活様式に合った方法を検討し、実施していきます。打ち水キャンペーンは、集団での実施から、家庭や個人での実施に替え、「打ち水重点啓発期間」（関連P88）として、SNS等を活用し広く区民に取り組んでもらえるよう努めていきます。

■ エコポリスセンター事業へのボランティア等参加者数

指標名	基準年値 平成26年度	めざす 方向性	目標値 令和7年度	実績値 令和2年度	(参考)		進捗率	進捗度
					達成率	達成度		
エコポリスセンター事業への ボランティア等参加者数	990 人		1,300 人	279 人	21.5%	C	0%未満	停滞

この指標は、エコポリスセンターの事業に協力したボランティアの人数を集計したものです。コロナ禍でイベント等が中止になったことにより、参加者数が減少しました。今後

は若年層の取り込みを進めるとともに、指導者養成講座をオンラインで行うなど、新しい形態を取り入れながら多様なボランティア人材の育成を図っていきます。

■ 環境登録団体数

指標名	基準年値 平成26年度	めざす 方向性	目標値 令和7年度	実績値 令和2年度	(参考)		進捗率	進捗度
					達成率	達成度		
環境登録団体数	27 団体		37 団体	35 団体	94.6%	A	80.0%	順調

この指標は、エコポリスセンター及びいたばし総合ボランティアセンターへの登録団体を集計したものととなります（重複は除く）。

2019（令和元）年度の実績値36団体からは若干減少したものの目標値に向けて「順調」に推移しています。

■ 環境学習講師派遣人数

指標名	基準年値 平成26年度	めざす 方向性	目標値 令和7年度	実績値 令和2年度	(参考)		進捗率	進捗度
					達成率	達成度		
環境学習講師派遣人数	363 人		500 人	164 人	32.8%	C	0%未満	停滞

この指標は、区内保育園や小中学校等における環境学習の出前講座の際にエコポリスセンターが派遣する指導者等の人数となります。

コロナ禍により、対面による講師派遣人数が減少しました。今後は、Webを利用したりモート授業など新しい形態を取り入れながら

環境教育の推進を図っていきます。



◀ 小学校へのお出前講座 (リモート授業) ▼



2 環境施策の活動状況

(1) 環境保全活動への参加や協働を進める仕組みづくり



エコポリス板橋クリーン条例

板橋区は、1998（平成10）年10月に、地域の環境美化活動の推進や区民の良好な生活環境を確保することを目的として、「エコポリス板橋クリーン条例」を制定しました。この条例では、ごみやたばこの吸い殻のポイ捨てを禁止するとともに、歩きたばこや自転車に乗りながらの喫煙をしないよう努めることを規定しています。

また、条例では、乗降客の多い駅周辺等を「路上禁煙地区」に指定し、終日路上での喫煙を禁止しており、現在8地区（成増駅周辺、上板橋駅周辺、大山駅・区役所周辺、板橋駅・新板橋駅周辺、ときわ台駅周辺、高島平駅周辺、東武練馬駅周辺、志村坂上駅周辺）が

対象となっています。

迷惑喫煙防止のためには、喫煙者のマナーの向上が必要であることから、ボランティアからなる「板橋区喫煙マナーアップ推進員」制度を2005（平成17）年4月に創設しました。現在、100名（2021（令和3）年3月31日現在）の推進員が、各地域で、吸い殻の清掃活動などに積極的に取り組んでいます。さらに、迷惑喫煙防止啓発のため、区内21の駅頭において区職員と推進員が協働で行う「駅頭キャンペーン」や、喫煙マナー指導員（区委託）による巡回パトロールなどを実施しています。



▶喫煙マナー指導員
（区委託職員）

◀喫煙マナーアップ推進員
（ボランティア）



関連する活動指標

指標名	基準年値 平成26年度	めざす 方向性	実績値 令和元年度	実績値 令和2年度	進捗度
喫煙マナーアップ推進員人数	157 人	↗	93 人	100 人	後退
路上禁煙地区(8地区)内の定点におけるたばこのポイ捨て月平均本数※	1,300 本/月	↘	899 本/月	722 本/月	進展

※ 基本目標4「快適で健康に暮らせる生活環境の実現」の環境施策2「潤いのある景観や美しい街並みの保全」の指標であるが、「エコポリス板橋クリーン条例」に関する取り組みとしてまとめて表記する。

今後の対策:ポストコロナを見据え、活動内容や推進員の適正人数等について検討していきます。

関連するホームページ
（エコポリス板橋クリーン条例）

<https://www.city.itabashi.tokyo.jp/bousai/kougai/bika/ecopolice/1006099.html>

エコポリス板橋環境行動会議

板橋区は、2001（平成13）年10月、「エコポリス板橋」実現のため、住民による任意の環境活動が、組織的な連携の場所を持つことにより一層活発化することをめざし、「エコポリス板橋環境行動会議」を設立しました。会議は、学識経験者、団体、地区環境

行動委員会からそれぞれ推薦のあった方、区職員で構成されています。

「エコポリス板橋環境行動会議」は、委員相互の緊密な連携のもとに、広く区民等に対して、環境保全・環境美化に関する普及啓発、環境情報の提供などを行います。

2020（令和2）年度の活動方針は以下のとおりです。

◆ 地域清掃及び環境美化の推進 (春・秋の板橋クリーン作戦)
◆ ごみのポイ捨て防止の推進 (ポイ捨て防止キャンペーン)
◆ 地球温暖化対策への取り組み (CO ₂ 削減区民運動「エコライフウィーク」)
◆ 情勢に応じた、環境問題についての情報交換
◆ 当会議の活動内容や環境情報の周知

また、「エコポリス板橋環境行動会議」では、区民の環境美化意識を高め、自主的な環境美化活動の輪を広げていくため、活動方針に基づき、全区的統一行動として事業計画を定めています。2020（令和2）年度の取り組み結果は表2-6-1のとおりです。

関連するホームページ
(エコポリス板橋環境行動会議)

<https://www.city.itabashi.tokyo.jp/bousai/kougai/bika/ecopolice/1006102.html>

表2-6-1 区内統一行動と2020（令和2）年度の取り組み結果

全区的統一行動	2020（令和2）年度の取組結果
春の板橋クリーン作戦	(P74参照)
秋の板橋クリーン作戦	(P74参照)
ポイ捨て防止キャンペーン	(P75参照)
板橋クリーン作戦ごみ拾い選手権	(P75参照)
打ち水重点啓発期間	7月18日から9月6日までの期間に、地球温暖化防止及びヒートアイランド緩和(※P97)のための活動の一環として打ち水の啓発を行いました。SNS等を活用し広く区民に呼びかけました。
CO ₂ 削減区民運動 (エコライフウィーク)	夏季・冬季に、エコアクション9(関連P77)の啓発を行いました。

エコポリス板橋環境活動大賞

板橋区は1999（平成11）年11月に板橋区環境保全賞を創設しました。これは、1998（平成10）年10月に制定した「エコポリス板橋クリーン条例」に基づく顕彰制度と、1979（昭和54）年から行ってきた「板橋区環境保全推進優良事業所及び優良公害防止管理者感謝状贈呈要綱」の二つの制度を統合し、「板橋区環境保全賞」として、環境問題に積極的に取り組み、努力されている方々に対し表彰を行ってきました。

しかし、環境保全賞の創設当時と比べると、区民や団体、企業等の環境に対する変化・向上により、様々な環境活動が実施されるようになりました。また、2009（平成21）年3月に「板橋区環境基本計画（第二次）」が策定され、取り組むべき環境施策が具体化されました。こうした状況等を踏まえ、従来の

「環境保全賞」をリニューアルし、「エコポリス板橋環境活動大賞」として2011（平成23）年度より実施しています。

2020（令和2）年度は、コロナ禍の影響により、中止しました。



■エコポリス板橋環境活動大賞

関連するホームページ
(エコポリス板橋環境活動大賞)

<https://www.city.itabashi.tokyo.jp/bousai/kougai/bika/ecopolice/1006100.html>

区民団体における取り組み

エコポリスセンターでは、環境活動を行う個人・団体等の活動支援や、環境について行動できる人づくりに力を入れています。事業

の受託者や講師として活躍している団体もあります。イベントへの出展等を通じて、来館者との交流も深めています。

関連する活動指標

指標名	基準年値 平成26年度	めざす 方向性	実績値 令和元年度	実績値 令和2年度	進捗度
ボランティアなどの協力を受入れたエコポリスセンター事業数※1	183 件	↗	187 件	91 件	後退
自主講座支援回数※2	2 回	↗	2 回	1 回	後退

※1 エコポリスセンターの事業のうち、ボランティアが協力した事業の件数を集計したもの

※2 団体が自主企画した講座をエコポリスセンターが支援した回数

今後の対策:コロナ禍のもとでの実施により、ボランティアの受け入れ事業数や団体の自主講座数は減少しました。今後も指導者養成講座にオンラインなどの新しい形態を取り入れながら、多様な人材の育成を図っていきます。

関連するホームページ
(エコポリスセンター各種登録制度)

<https://itbs-ecopo.jp/various-application/>